

投資事業評価調書(新規)

部課室名	農林水産部 農林水産局 総合農政課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 廣田道夫 (課長補佐 皆木治男)	内線	3944
------	----------------------	---------------------	------------------------	----	------

事業種目	経営構造対策事業	事業名	事業区域	総事業費	
	経営構造対策事業		神戸市西戸田地区	323.2 百万円	
所在地			着工予定年	完成予定年	
神戸市西区平野町西戸田地先			13	14	
事業の目的			事業内容		
<p>施設でのトマト栽培を中心とした集約的農業が展開されている地区で、台風に強い軽量鉄骨ハウスと養液土耕栽培システム等を併せて整備し、担い手にリースすることで、長期的に安定した農業経営を実現させ、担い手の支援・育成を図る。 また、産地の維持拡大を通して食料の安定供給や農業の持続的発展に繋げる。</p>			<p>(1) 複合経営促進施設 6棟 (軽量鉄骨ハウス A=15,100 m²) 附帯施設 1式 事業主体：J A兵庫六甲</p> <p>(2) 用排水整備 L=3,900m 事業主体：西戸田野菜生産者組合</p>		
評価視点		評価結果の説明			
(1) 必要性		<p>J A兵庫六甲では、地域の特産物づくりと産地化の推進、ビニールハウスのレンタル事業の推進と産地拡大、直売所と連携した女性組織の強化・育成を柱に営農振興計画に基づき事業展開を図っており、神戸市においても、地域の認定農業者等の担い手育成と軟弱野菜等の産地化を目指し、農業施策の展開を図っているところである。</p> <p>神戸市西戸田地区は、風被害によるビニールの張り替え等多大な労力を要し、また、安定的生産が維持できない状況にある。</p> <p>このため、規模拡大にあたっては、風に強い軽量鉄骨ハウス(硬質プラスチックフィルム被覆)を建設するとともに、トマトと小松菜の2作を可能とするため、養液土耕並ひに加温システムを導入し、経営の安定化と品質の向上、また、雇用労力を活用した労働時間の短縮等省力化・合理化を促進し、担い手の確保と育成を支援する。</p>			
(2) 有効性・効率性		<p>作付増加効果、単収増加効果、労働経費節減効果等の事業効果が得られる。</p> <p>費用対効果の面からみると、投資効率は 1.16 と 1 以上であり、有効性は高い。</p>			
(3) 環境適合性		<p>従来のビニールパイプハウスから毎年排出される塩化ビニール等の廃プラスチックが削減でき、また、養液土耕システムを採用することにより、土壌に養分の過剰な蓄積がなく、周辺の環境への負荷が軽減できる。</p>			
評価の結果	着手妥当	左の理由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。		